

令和3年8月10日

阿見町長 千葉 繁 殿

阿見町議会議長 久保谷 充

通学路の危険箇所への早急な対応を求める緊急提言書

本年6月28日、千葉県八街市の通学路で下校途中の小学生の列にトラックが突っ込むという事故が起り、小学3年生と2年生の男子児童が死亡しました。このような痛ましい事故はあってはならないものですが、いつ起こるとも限りません。

この問題を受けて、菅首相は「今回のような大変痛ましい事故はいまだ後を絶たない。必要な捜査と原因究明を直ちに行い、関係する事業者に対し安全管理を徹底していく」と述べ、また「今後、このような事故が二度と起きないよう通学路の総点検を改めて行い、緊急対策を拡充・強化し、速やかに実行に移していく」と述べ、子どもの安全を守るために万全の対策を講じるよう関係閣僚に指示しました。

議会としてもこのことを受け、7月18日に「子どもたちの通学時の安心・安全を確保するため、通学路交通安全プログラムに関する研修」を実施し、当町における課題を抽出しました。課題として挙がったのは、本当に危険な箇所が通学路交通安全プログラムの合同点検・対策会議のリストに載っていないことで、その原因としては、PTA・保護者・地域住民間の横のつながりがなく、この制度が十分に生かされていないことでした。また、その要望が学校へ十分に届いていないことや、学校・教育委員会もそれらの情報を十分に把握できていなかったことにありました。

また議会としては、8月1日に、地域の方にも参加をいただき「通学路の安全に関する意見交換会」も行い、地域の方たちとの情報の共有も行いました。

以上の結果から、通学路の危険箇所の見直しについて、下記のとおり提言いたします。

記

1. 学校区ごとに、PTA・保護者、子ども会・育成会、地域住民が持つ情報の意見交換を行う場を設け、通学路に関して相互に情報の見える化を図ること
2. その通学路の危険箇所について、町長部局及び教育委員会が把握するための方策を検討すること
3. 町長部局及び教育委員会の担当部署間の連携と情報共有・共通認識を図ること
4. 別紙の調査書に挙げた危険箇所を今年度の阿見町通学路安全対策推進会議（阿見町通学路交通安全プログラム）に反映させ、早急に改善すること